



令和 6 年度
滝沢地域社会報告書
Takizawa benchmark report

はじめに

- 「第2次滝沢市総合計画」は、市民のみなさんの協力と参画によって策定されました。

令和6年度からスタートした第2次滝沢市総合計画は、「市政懇談会」や「市長と話そう」などを通して市民の皆様からいただいたやさしさに包まれたまちのイメージに関する意見や、市が継続的に実施している「たきざわ幸福実感アンケート」の結果などを踏まえて策定された、市の将来像である「誰もが幸福を実感できる活力に満ちた地域」の実現を目指す市民と市行政の取組を体系的に示した地域社会計画であり、その計画期間は令和6年度から令和13年度までです。

- この報告書は、総合計画の取組効果の測定や、実現に向けた進捗度を共有するため作成しています。

第2次滝沢市総合計画では、基本構想が目指す状態を「やさしさに包まれた滝沢」と定め、社会的包摂性が高い地域を創出するための取組を市民と市行政が協力しながら取り組むこととしています。

総合計画には、その取組効果の測定、実現に向けた進捗度を測るため、16項目の「たきざわやさしさ指標」と目標数値を設定しています。

この報告書は、たきざわやさしさ指標の現状値を取りまとめ、お知らせすることにより、総合計画の取組効果や実現に向けた進捗度を広く共有するために作成しています。

※「社会的包摂性」とは年齢、性別、障がいの有無などに関わらず、誰もが社会の一員として支え合い、孤立することなく安心して暮らせる状態のことを指します。

- 「人とのかかわり」を育み、「市民主体の地域づくり」を進めていきましょう。

滝沢市の将来像である「誰もが幸福を実感できる活力に満ちた地域」を実現するためには、「市民主体の地域づくり」が進展することが重要です。

多くの市民の皆様がこの報告書をお読みいただくことで、家族や地域、市行政（市役所）の職員などとの「人とのかかわり」の構築や、お住まいの地域課題の解決、やさしさの循環が生まれる環境づくりへの取組等への一助としていただければ幸いです。

※「ベンチマーク」とは元々は測量の水準点という意味です。本報告書では、地域の現状やめざすべき将来像の実現状況を測定するための「ものさし」としての意味合いで使用しています。地域の姿をわかりやすい指標で定期的に測定し、基準となる数値、最新の数値、将来の目標値などと比較しています。

Check!

第2次滝沢市総合計画の進捗状況をあらわす「たきざわやさしさ指標」のうち、変化のあった指標15項目中、10項目（約66%）が基準値から上昇しました。さらに上昇した指標のうち、3項目で令和9年度目標値を達成しました。

“将来像指標”【3ページ～】

2つの将来像指標「滝沢市で幸せに暮らしている人の割合」、「滝沢市は活力に満ちた地域だと感じている人の割合」の両方の指標の値が基準値より上昇しました。

“市民のかかわり指標”【4ページ～】

8つの市民のかかわり指標のうち、主観的指標である「自分が誰かを支えうる存在であると感じている人の割合」、「地域の居心地が良いと思っている人の割合」、「人々が集まり活動できる「場」があると感じている人の割合」の3つの指標と客観的指標である「市内公共施設利用者数」の1つの指標が基準値より上昇しました。さらに客観的指標である「市内公共施設利用者数」は令和9年度目標値を達成しました。

“暮らしやすさ指標”【6ページ～】

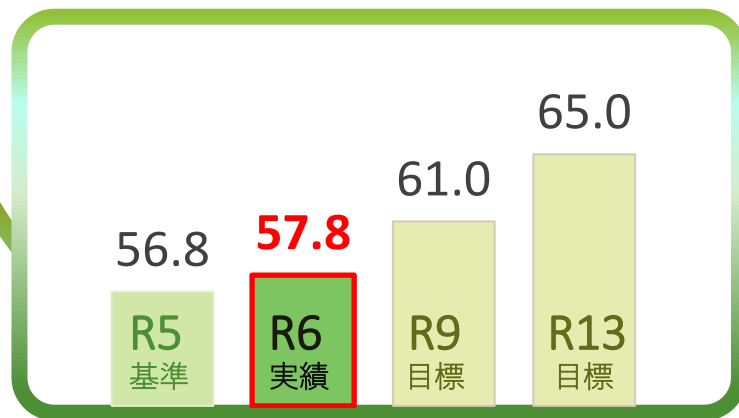
7つの暮らしやすさ指標のうち、主観的指標である「心身ともに元気で暮らせている人の割合」、「働く場があると感じている人の割合」、「滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合」の3つの指標と、客観的指標である「一人当たり課税対象所得額」の1つの指標が基準値より上昇しました。さらに「心身ともに元気で暮らせている人の割合」と「一人当たり課税対象所得額」は令和9年度目標値を達成しました。

このように基準値から上昇した指標や目標を達成した指標もあるものの、人と人との関わりに関連する指標など基準値から低下した指標もみられることから、総合計画期間終了時に目標を達成するため、引き続き柔軟かつ効果的な取組を進めます。

指標推移

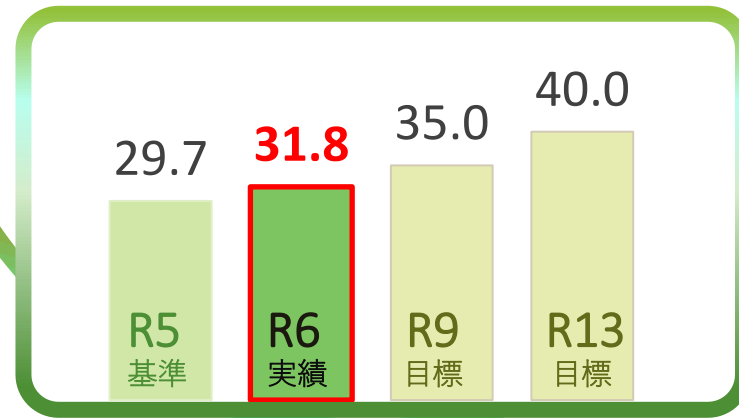
将来像指標

滝沢で幸せに
暮らしている人
+ 1.0pt (前年度比)



【出典】
R6たきざわ幸福実感アンケート調査における「滝沢市での暮らしは幸せですか」の質問に「幸せ」又は「やや幸せ」と答えた人の割合の合計

滝沢は
活力に満ちた地域だ
と感じている人
+ 2.1pt (前年度比)



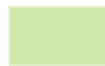
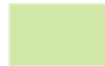
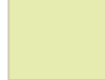
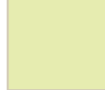
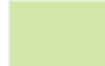
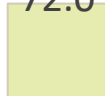
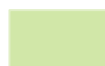
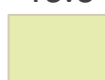
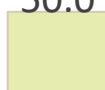
【出典】
R6たきざわ幸福実感アンケート調査における「滝沢市は活力に満ちた市だと感じていますか」の質問に「はい」と答えた人の割合

指標推移

市民のかかわり指標

主観的指標

基準値はR5数値

指標項目	増減	基準値	R6実績	R9目標	R13目標
自分が誰かを支える存在であると感じている	+0.7pt (前年度比)	58.1 	58.8 	62.0 	66.0 
周囲の人たちと「お互い様」の関係性がある	△1.9pt (前年度比)	69.6 	67.7 	73.0 	76.0 
地域の居心地が良いと思っている	+1.4pt (前年度比)	63.4 	64.8 	68.0 	72.0 
積極的に挨拶を交わす人が多いと感じている	△0.8pt (前年度比)	39 	38.2 	44.0 	48.0 
人々が集まり活動できる「場」がある	+0.8pt (前年度比)	43.1 	43.9 	46.0 	50.0 

【出典】
R6たきざわ幸福実感アンケート調査

指標推移

市民のかかわり指標

客観的指標

基準値はR5数値

指標項目	増減	基準値	R6実績	R9目標	R13目標
直近の市議会議員選挙の投票率※ 1		43.28 		50.00 	55.00
直近の市長選挙投票率※ 2		44.49 		50.00 	55.00
市内公共施設利用者数※ 3	+76,173人 (前年度比)	726,020 	802,193 	785,500 	805,500

※ 1

基準値はR5実施時のもの。以降、市議会議員選挙は行われていない

※ 2

基準値はR4実施時のもの。以降、市長選挙は行われていない

※ 3

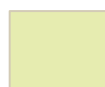
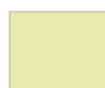
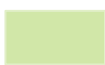
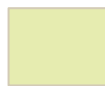
市内公共施設（ビッグルーフ滝沢、北部コミュニティセンター、滝沢ふるさと交流館、葉の木沢山活動センター、地区コミュニティセンター及び市内体育館）

指標推移

暮らしやすさ指標

主観的指標

基準値はR5数値

指標項目	増減	基準値	R6実績	R9目標	R13目標
心身ともに元気に暮らせている人	+4.0pt (前年度比)	56.3 	60.3 	59.0 	62.0 
働く場があると感じている人	+1.0pt (前年度比)	22.1 	23.1 	25.0 	28.0 
困っている人の声が届きやすいと感じている人	△1.1pt (前年度比)	24.5 	23.4 	28.0 	31.0 
滝沢市は住みやすい市だと感じている人	+3.3pt (前年度比)	68.3 	71.6 	72.0 	75.0 
子ども達が生き生きとしていると感じている人	△2.9pt (前年度比)	42.6 	39.7 	46.0 	50.0 

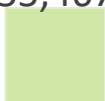
【出典】
R6たきざわ幸福実感アンケート調査

指標推移

暮らしやすさ指標

客観的指標

基準値はR5数値

指標項目	増減	基準値	R6実績	R9目標	R13目標
人口（岩手県毎月人口推計における毎年度10月1日時点の滝沢市の人口推計値）	△905人 (前年度比)	55,467 	54,562 	55,500 	55,500 
一人当たり課税対象所得額※1	+78千円 (前年度比)	2,624 	2,702 	2,700 	2,800 

※1

市民税課税の対象所得額（非課税者を除く。）を納税義務者の人数で除して得た金額
（翌年度の6月末日現在）



令和 6 年度 滝沢地域社会報告書

Takizawa benchmark report

<編集・発行>

令和 7 年 9 月発行

滝沢市企画総務部企画政策課

〒020-0692 岩手県滝沢市中鵜飼55番地

電話 019-684-2111 (代表)

メール kikaku@city.Takizawa.iwate.jp